

2021年11月30日 火曜日

トップニュース | **行政・団体** | 企業・経営 | 技術・商品 | 工事・計画 | 人事・動静 | 行事 | 論説・コラム | 特集 | 連載 | 発注公告

行政・団体

ツイート

文字サイズ 小 **中** 大

▶ 四国整備局/滑動中の地滑り対策にSWP工法導入/国内初、徳島県三好市で
[2021年11月29日11面]



試験運用の様子(四国山地砂防事務所提供)

四国地方整備局四国山地砂防事務所は、徳島県三好市西祖谷村有瀬地区の地滑り対策に、真空排水ポンプを使った「スーパーウェルポイント(SWP)工法」を導入する。複数年に及ぶ排水トンネル工事の施工中の安全対策のため、同工法により地滑りの要因とされる地下水を強制排水する。地下水を多く含む軟弱地盤の土地改良に使われるケースはこれまでであったが、活発に滑動している地滑りに対し同工法を適用するのは国内初という。

対象工事は「令和2-5年度吉野川水系有瀬地区排水トンネル工事」(工期=2021年1月29日~23年12月28日)。鉄建建設が施工を担当している。契約金額は11億9790万円(税込み)。

SWP工法は、地上に設置した真空ポンプで井戸管内を真空状態にし井戸周辺の地下水を集水。井戸底部に設置した揚水ポンプで排水する。揚水ポンプだけを使う従来の排水と比べ、揚水量が大きいのが特徴だ。同工法に必要な設備を合計2基設置予定で、18日に1基目の稼働を行った。2基目の稼働は22年1月下旬を予定している。

四国山地砂防事務所は、18年7月豪雨、19年8月の台風10号による豪雨で地滑りの滑動が活発化した有瀬地区で地滑り対策事業を実施している。対象箇所では、周辺のコンクリート擁壁が割れて傾いたり、道路が波打ったりするなどの様子が確認されている。

さらに地滑りの滑動が活発化すると、下流に流れる河川に土砂が流下し被害を及ぼす恐れがある。徳島県と連携しながら、地下水排水工を実施してきたが、完全に地滑りの動きが停止してない。このため、応急対策に加え、排水トンネル工事の安全対策として、地下水の排水が必要となっている。

同地区でのSWP工法による地下水の水位低下や地滑りブロックの滑動の低減が確認されれば、他地区で活発な地滑り滑動が今後確認された場合に、同工法の適用の検討を行うとしている。

このジャンルの最新記事

- ▶ 国交省/建築BIM活用指針改定で方向性/業務報酬など検討課題に [2021年11月30日1面]
- ▶ 国交省/若年世帯の住宅取得支援へ補助事業創設/22年1月中旬に事業者登録開始 [2021年11月30日2面]
- ▶ 政府/21年度補正予算案/強靱化5か年対策に国費1.5兆円 [2021年11月30日2面]
- ▶ 大建協土木委/20年11月現場実態調査/4週8休確実に着 [2021年11月30日10面]
- ▶ 政府/21年度補正予算案を決定/過去最大の総額3.6兆円、強靱化に2.9兆円配分 [2021年11月29日11面]

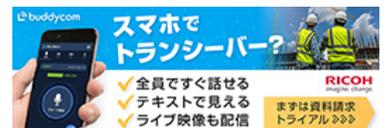
この記事へコメント

Cat®オンラインEXPO開催中!
現場で役立つICT施工



お知らせ

- ▶ Twitterアカウントについて
- ▶ 『最近一年間の完成工事高』2021年上期版のデータを公開しました
- ▶ 類似社名による協賛広告依頼にご注意下さい。



新聞購読ご案内 詳細はこちら
ご契約後、ネット会員申し込みで、直近1年間の記事検索が可能

月刊工事情報 ログインページへ
データダウンロード会員

- 今週の建設業
- ▶ 29日 | 国交省、建築BIM環境整備部会
 - ▶ 30日 | 厚労省・総務省、10月の有効求人倍率・労働力調査
 - ▶ 30日 | 経産省、再エネ大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会
 - ▶ 30日 | 経産省、カーボンニュートラル実現経済的手法あり方研究会